

特集

誰もが移動しやすい まちを目指して

← 那覇市の現状

かつて、那覇市の中心市街地ではデパートや映画館など様々な施設が立ち並び、多くの人々が集まるまちでした。近年では郊外や周辺市町村にショッピングモールなどの大型商業施設が次々と建てられています。さらに、交通問題の深刻化や市中心部の人口減少、少子高齢化の進行など向き合うなかで、まちに賑わいを生み出し、維持することが課題となっています。

これからは、公共交通で市内の各地域を結び、人の移動を増やすことで、市民が楽しく暮らし、賑わいのあるまちを作る必要があります。

← 公共交通利用の低下

市内の交通渋滞は、大きな経済的損失を生み出すだけでなく、市内への人の流れを阻害する要因となることが懸念されます。さらに、那覇市は小さな土地に公共交通網が充実したコンパクトなまちですが、市内での通勤通学に利用される交通手段は自家用車が一番多く、公共交通は2割以下と低くなっています。

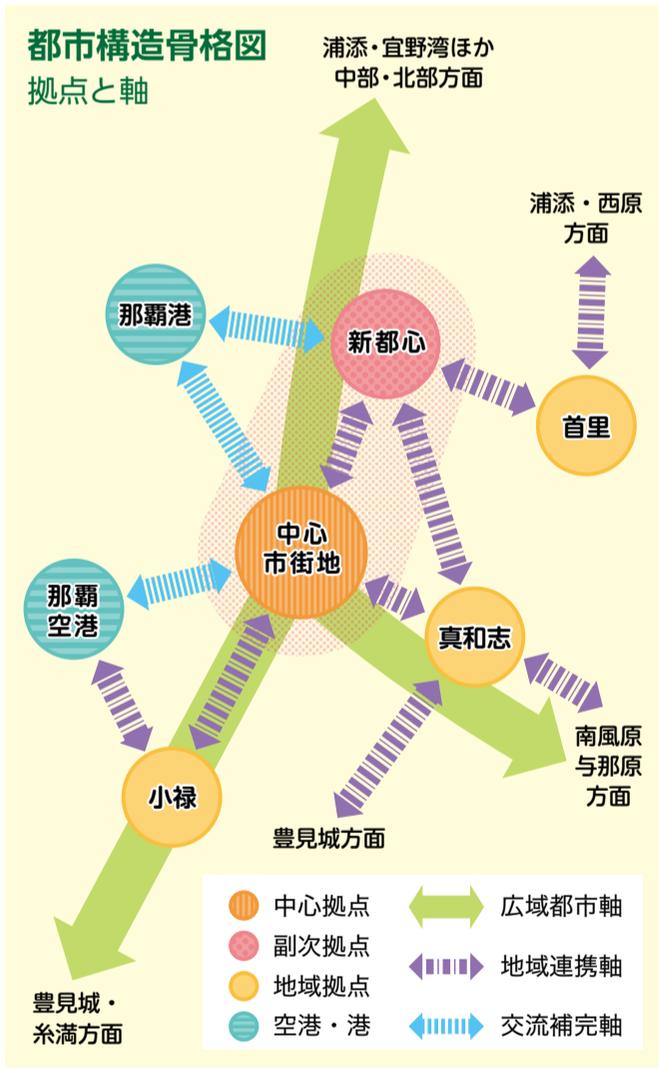
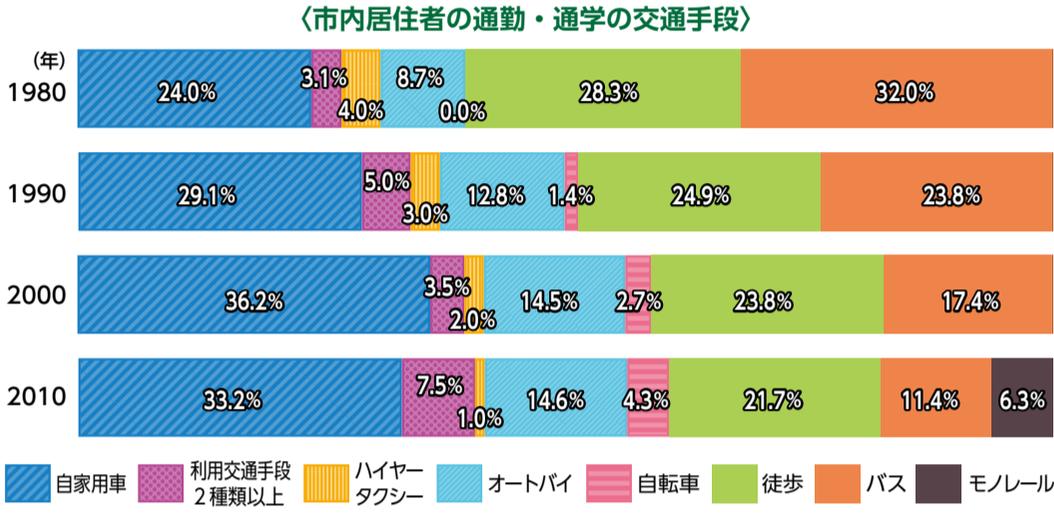
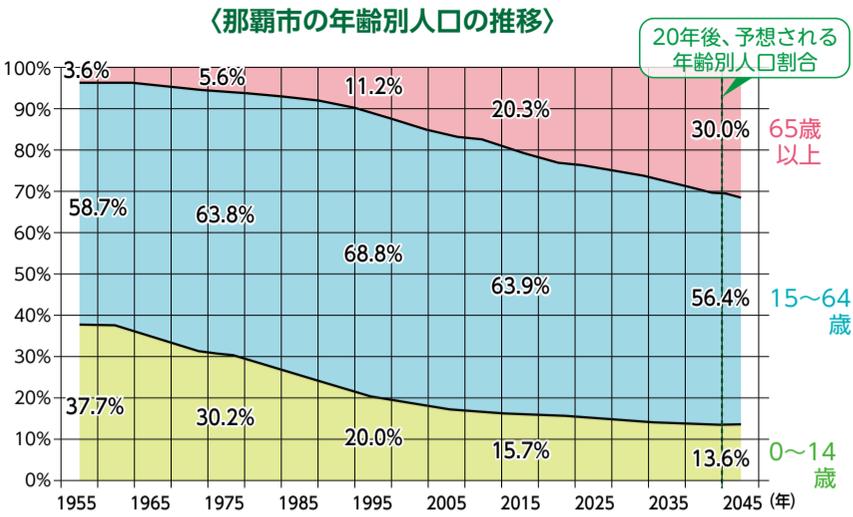
← 都市力の強化・魅力向上のために

現状から、那覇市が抱える課題が見えてきました。そして、その課題から、「人や機能が集まる活力あるまち」であるための基本方針を定めました。(那覇市立地適正化計画)

課題	基本方針
<ul style="list-style-type: none"> ● 求心力低下 ● 交通問題 ● 人口流出 ● 中心部の人口減少 ● 少子高齢化への対応 ● 災害への安全性の向上 ● 自然・歴史環境の保全・継承 ● 持続可能な都市経営 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩いて暮らせるまちへの転換 ● 利便性の高い公共交通を整える ● 歩行者・自転車環境を整える ● 歩いて暮らせるエリアをつくる ● 都市力の強化・魅力向上 ● 求心力を高める機能を強化する ● 魅力ある都市環境を作る ● まちなかや周辺に住人を取り戻す ● 災害への安全性を高める

← 公共交通を骨格とした都市構造へ

車が必要なまちから、公共交通が便利なまちへ変わるため、小禄・首里・真和志の各地と中心市街地および新都心の各拠点を利便性の高い公共交通で結び、誰もが移動しやすいまちを作ります。



みんなを繋ぐ、快適なまちへ

- 日差しを遮る緑を配置して、歩きたくなる道路空間を創出します
- 停留所には上屋やベンチなどを配置し、利用者の利便性・快適性を確保します
- 駐輪場を整備し、モノレールやバスなどの公共交通の利用環境を整えます

歩道や自転車道を設け、安全で快適な徒歩・自転車走行空間を確保し、歩道や停留所、車両などのバリアフリー化によって子どもからお年寄りまで、誰もが支障なく利用できる環境を作ります。

那覇市では、新たな公共交通機関として「LRT」の導入を目指しています。バスやモノレールなどの既存の公共交通と連携することで、よりスムーズに市内を移動することが可能となります。現在直面している交通問題を踏まえながら、公共交通を軸としたまちづくりについて紹介します。

那覇市都市計画課 ☎951-3246